

めぐみイエス・キリスト教会

2018年1月20日(土)2018年第三土曜礼拝
週報「通算第390号」



2018年標題聖句

使徒の働き27章22節～26節

27:22 「しかし、今、お勧めします。元気を出しなさい。あなたがたのうち、いのちを失う者はひとりもありません。失われるのは船だけです。

27:23 昨夜、私の主で、私の仕えている神の御使いが、私の前に立って、

27:24 こう言いました。『恐れてはいけません。パウロ。あなたは必ずカイザルの前に立ちます。そして、神はあなたと同船している人々をみな、あなたにお与えになったのです。』

27:25 ですから、皆さん。元気を出しなさい。すべて私に告げられたとおりになると、私は神によって信じています。

27:26 私たちは必ず、どこかの島に打ち上げられます。」

主日礼拝毎週日曜日 午前10時～11時

聖書研究・祈祷会 毎週水曜日 午後6時15分～7時15分

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◇◆◇2018年1月20日(第Ⅲ土曜礼拝)

午後6時00分～7時00分

司会 鈴木 ますみ さん 奏楽 佐野 みゆきさん

◎礼拝プログラム

【前奏・祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌266「罪咎を赦され」 p. 418

【交読文】 No.41 詩篇第127篇 p. 912

【賛美Ⅱ】 新聖歌291「神の国と神の義」 p. 465

【使徒信条】

【主の祈り】

【先週のメッセージの概要】

【賛美Ⅲ】 オリジナルNo.14 「み言葉に帰ろう」

【聖書朗読】 ヨハネの福音書13章12節～17節(新約p. 189)

【祈 禱】

【メッセージ】 《互いに足を洗い合いなさい》 鈴木竜実師

【聖餐式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌165「栄光イエスにあれ」 p. 235

【平和の祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝禱・後奏】

●ポイント1 過越の食事の場所とは？

※ルカの福音書22章7節～14節「二階の大広間にて」(新約p.148上段)

※使徒の働き1章13節～15節 「屋上の間において」(新約p.208下段)

※ルカの福音書7章44節「パリサイ人シモンの家にて」(新約p.114上段)

7:44 そしてその女のほうを向いて、シモンに言われた。「この女を見ましたか。私がこの家には行って来たとき、あなたは足を洗う水をくれなかったが、この女は、涙で私の足をぬらし、髪の毛でぬぐってくれました。」

●ポイント2「今はあなたにわからないが、後でわかるようになる」とは？

※使徒の働き10章40節～43節「ペテロの説教から」(新約p.228下段)

10:40 「しかし、神はこのイエスを三日目によみがえらせ、現われさせてくださいました。

10:41 しかし、それはすべての人々にではなく、神によって前もって選ばれた証人である私たちにです。私たちは、イエスが死者の中からよみがえられて後、ご一緒に食事をしました。

10:42 イエスは私たちに命じて、このイエスこそ生きている者と死んだ者とのさばき主として、神によって定められた方であることを人々に宣べ伝え、そのあかしをするように、言われたのです。

10:43 イエスについては、預言者たちもみな、この方を信じる者はだれでも、その名によって罪の赦しが受けられる、とあかししています。」

●ポイント3「互いに足を洗い合いなさい」とは、どのような意味なのか？

※マタイの福音書6章14節～15節「山上の垂訓から」(新約p.9上段)

6:14「もし人の罪を赦すなら、あなたがたの天の父もあなたがたを赦してくださいます。

6:15 しかし、人を赦さないなら、あなたがたの父もあなたがたの罪をお赦しになりません。」

※ルカの福音書17章3節～4節「主イエス様の教えから」(新約p.137上段)

17:3「もし兄弟が罪を犯したなら、彼を戒めなさい。そして悔い改めれば、赦しなさい。

17:4 かりに、あなたに対して一日に七度罪を犯しても、『悔い改めませぬ。』と言って七度あなたのところに来るなら、赦してやりなさい。」

◎先週のメッセージの概要【元気を出しなさい(パートⅡ)】

《パウロの一行が乗った船は、ルカとアリストアルコを含めて276人が乗っていましたから、かなり大きな船であったことは、間違いありません。

ただし15.6世紀の大航海時代の帆船ほどに、完成されていたものではありませんでしたから、よって風に逆らって進むことはまだ出来ませんでした。

パウロたちはルキヤのミラと言う所で、イタリア行きの船に乗り換えます。そして冬を過ごす為に、クレテの港ピクニスへむけて出航しました。すると船は激しい嵐に遭い、それから激しい暴風が吹きまくるなか、太陽も星も見えない日が幾日も続き、ついに全員が絶望の淵に立たされたのです。その時、パウロが275人に向けて、神の御使いから授かった「神の言葉」を伝えたのです。「今、お勧めします。元気を出しなさい。あなたがたのうち、命を失う者はひとりもありません。失われるのは船だけです。昨夜、私の仕えている神の御使いが、こう言いました。『恐れてはいけません。パウロ。あなたは必ずカイザルの前に立ちます。そして、神はあなたと同船している人々をみな、あなたにお与えになったのです。』ですから、皆さん。元気を出しなさい。私たちは必ず、どこかの島に打ち上げられます。」

この言葉を聞いた275人は、心の中に「希望の灯」が灯されました。まさしくイエス様が言われたように、『人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つの言葉による。』のです。

そして次にパウロがしたことは、五千人の給食の奇蹟のパウロ版でした。パウロはパンを取り、一同の前で神に感謝をささげてから、それを裂いて、全員に分け与えたのです。そこで一同が元気づけられ、船にいた者は十分食べた、と書かれています。神様は、まず命の「み言葉」をお与えになられ、そして次に「肉の糧」をお与えになられます。これが聖書の法則なのです。》

◎お知らせ

1. 次回の礼拝は、1月28日(日)午前10時から、通常通りに行ないます。
2. 鈴木師は、1月21日(日)聖書キリスト教会の教会大会に出席します。2018年テーマ曲を披露および歌唱指導をします。ぜひお祈り下さい。
3. 次回聖書研究会・祈祷会は、1月24日(水)午後6時15分から、新しいスタイルにて行ないます。
4. 1月22日(月)鈴木師は、ITCN午後集会に出席し、特別賛美の奉仕です。